

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第82回）に係る面談（2回目）
2. 日時：令和2年7月10日（金） 15時00分～16時45分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者
  - 原子力規制委員会
    - 田中委員、伴委員
  - 原子力規制庁
    - 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
      - 竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、田上係長、久川係員
    - 福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムにより参加）
      - 小林所長、坂本原子力運転検査官
  - 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
    - 小野CDO他プロジェクトマネジメント室8名（テレビ会議システムによる出席）
    - 福島第一原子力発電所8名（テレビ会議システムによる出席）
  - 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
    - 担当者2名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨
  - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第82回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。
    - 放射性物質分析・研究施設第2棟について
    - 原子炉注水停止試験の実施について
    - 建屋滞留水処理の進捗状況について
    - 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定状況について
    - 1/2号機排気筒ドレンサンピット内部調査状況
    - 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について
    - 3号機 燃料取り出しの状況について
  - 伴委員より、原子炉注水停止試験の計画について想定されるデブリの位置とPCV内の水位の関係を示した上で説明することを求めた。
  - 原子力規制庁より、以下のとおりコメント、確認を行った。
    - 放射性物質分析・研究施設第2棟に関する補足説明資料について、当日配布するのはマスキング箇所を枠で囲うなどして明確にすること。
    - 放射性物質分析・研究施設第2棟の設置に係る火災への対策については追加で資料内に説明すること。
  - 原子炉注水停止試験の実施について、注水停止中のPCVガス管理設備の運用や、ダ

スト濃度の測定等、ダスト飛散防止に係る対策等についての説明を追加すること。

- 3号機サプレッションチェンバ内包水のサンプリングについて、進捗状況に応じたスケジュールの更新を行うこと。
- 長期保守管理計画の策定について、試運用及び妥当性確認の内容を説明すること。
- 1/2号機排気筒ドレンサンプピット内部調査状況について、7月における降雨時の水位トレンドを資料内に追加すること。
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について、原子力規制庁で実施している事故分析の現場調査の測定結果も提示し、双方の測定結果を踏まえて汚染の分布、今後の調査内容について議論することとしたい。

○東京電力より、コメントについて検討の上、検討会に向けて準備を行う旨の回答があった。

## 6. 資料

- 放射性物質分析・研究施設第2棟について（案）
- 原子炉注水停止試験の実施について（案）
- 建屋滞留水処理の進捗状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定状況について（案）
- 1/2号機排気筒ドレンサンプピット内部調査状況（案）
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について（案）
- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）